

木材のガラス外装「木製カーテンウォールシステム」

概要・品質・性能	<p>木製フレームと複層ガラスを建物の外装に施すシステム。アルミニウムなど金属材料に比べ断熱効果の高い木材を利用することで、冷暖房コストを低減でき、また間伐材を材料とするため木材を有効活用できる。耐震性能にも優れ、震度 7~8 以上の地震でも破損しない実験結果を得た。木製枠溝に複層ガラスを嵌め込んだユニットを木柱に施工するフレームタイプと、木製枠に複層ガラスパネルを高強度シリコンで接続したユニットを木柱に施工するフレームレスタイプの 2 タイプがあり、工場でユニットを製作し現場で組み立てるため、工期短縮に繋がる。</p> <p>超ものづくり部品大賞 2009 奨励賞受賞。</p>	 <p>木製カーテンウォールシステム(秋田県まんならめ)</p>
用途	(1)住宅、ビル、他建築物	<p>技術移転</p> <p>(1)形態：特許実施権供与 (2)相手先：問わない (3)地域：国内・海外いずれでもよい</p>
実用化・情報	<p>[試作・実験] 完了</p> <p>[製造・販売実績] 有り (早稲田大学研究施設・秋田県まんならめ)</p> <p>[技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、サンプル 特許公報、学会発表資料、新聞記事</p> <p>[情報提供者] ㈱K.office 代表取締役 小島 功</p> <p>[連絡先] (財)りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>特許番号：登録第 3980391 号 「木造建築物」 登録日：平成19年7月9日 特許権者：小島 功 発明者：小島 功</p>